

囁く「ただいま。」
呟く「おかえり。」



もうすぐお盆。

地域おこし協力隊 活動報告

News Letter

Vol.32 SUMMER
2022.8月

岩崎隊員 活動報告

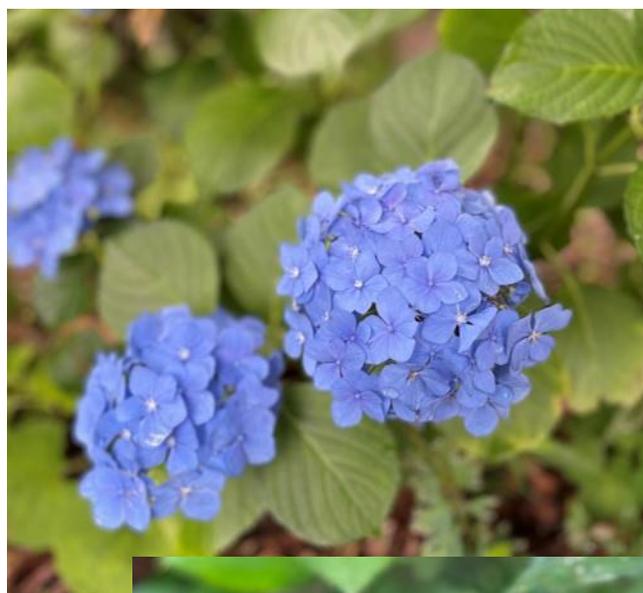
庭に地植えした紫陽花が花を咲かせました！

黒保根町に住み始めて1年目に黒保根の園芸農家さんからいただいた紫陽花です。昨年は花が咲かず残念でしたが、1年越しに花を咲かせてくれてとても嬉しいです。

この紫陽花を見ると黒保根町に移住した頃を思い出し、月日の経つ早さを感じます。

私の地域おこし協力隊の任期もあと僅かとなりました。

最後まで一生懸命頑張ります。



地域おこし協力隊とは：都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、地域協力活動や起業・定住に向けた活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組。（総務省HPより）

発行/桐生市地域おこし協力隊
担当 岩崎・飯塚・小島・河野



飯塚隊員 活動報告

いよいよキャンプシーズン本番です！花見ヶ原、利平茶屋の両キャンプ場は、連日、多くのお客様で賑わっており、晴れ予報になると平日でも直前に予約が入るケースが増えています！

写真は7月17日に、水沼で開催された体験型イベント「キミの夏」にてキャンプ体験ゾーンの薪割り体験・焚き火体験を行っている様子です。黒中最後の卒業生が、ボランティアでお手伝いに参加してくれました。イベント参加者にはモルック体験も楽しんでいただき、キャンプ場のPRもしました！



小島隊員 活動報告

7月は先月に引き続き、蜜蝋を使った製品作りに悪戦苦闘していました。使う材料の種類や分量を変えてみたり、作り方自体を変えたりしながら一番いいレシピを模索しています。

製品を詰めるための容器も同時進行で考え中です。（写真は試しに刻印を用いて蓋に名前を入れたものです。）

また、蜂蜜を瓶詰めする際に必要となる食品衛生責任者資格も取得しました。

今後も引き続き、試作品づくりを進め、良いものを作れるように頑張っていきたいと思います。



河野隊員 活動報告

7月には、木の実に虫が湧いたり、カビが生えたりする事件が発生し、その処理に明け暮れていました…（写真のように防虫ネット・防虫剤・乾燥剤で害虫とカビの対策中。）

様々な事が起こりつつも、木の実の販売体制が整ってきました。

8月中旬までには、オンラインショップでの「くろほの実」販売を開始します！価格は1000円～1500円です。

販売開始後も試行錯誤は続きます。皆様、応援をよろしくお願いいたします。

